

【榛(ハシバミ)】 花言葉:仲直り・正義・賢明・平和
果実は食用にでき、ヘーゼルナッツは本種の同属異種にあたるセイヨウハシバミ(西洋榛)。

発行者 / 中島由美子後援会 会長 小野関 武利

中島 由美子は

なかしまゆみこ



榛東村の地・人・ものを活かす
子どもたちに見せたい
みんなの『ふるさとづくり』

をスローガンに掲げています。

次の世代に引き継ぐ、榛東村の新たな地域づくりが今求められています。この地に生まれ、役場勤務約40年の奉職を通して育てて頂いた愛する故郷の発展にむけて、村民の皆様とともに取り組んでまいります。

全ての村民が豊かに暮らせる環境づくりに取り組みます。

- 1 女性の目線で子育て、教育支援**
子育て世代の支援策の拡充・第3子誕生世帯優遇政策強化・小中一貫教育による専門教育の充実
- 2 高齢者や障害を持たれる方達が安心して暮らせる環境整備**
電動カート補助金など健康長生きがい対策・障がい者就労支援
- 3 村民の生活の利便性の向上**
旧Aコープ榛東店舗の早期復活・自動運転タクシー導入など
- 4 情報通信技術導入で暮らしを豊かに**
情報通信技術を活用した持続可能な村づくり(WIFI無料拠点化・プログラミング教育・公共交通補完・観光推進・防災)
- 5 図書館・文化施設の充実**
伝統文化の継承と図書館・文化センターの新設
- 6 農業復活・最新ビジネス企業誘致、起業支援**
誰もが使える6次加工センターの整備、雇用の充実、村民所得の向上
- 7 里山の有効資源活用による地域振興**
伐期のきている村有林の有効活用などで、電気代のかからない水源の確保へ
- 8 村民お困りごと相談課の創設**
点灯しない街頭・壊れたままの看板・幹線道を覆う樹木・耕作放棄地、景観にそぐわない臭い等を解消し美しい榛東村へ、住宅で剪定した枝などの無料置き場の設置など

榛東村職員・中島氏出馬へ 村長選



中島由美子氏

任期満了に伴う榛東村長選(4月16日告示、21日投開票)で、元同村職員の中島由美子氏(60)と山子田

が、同村長選へ出馬する意向を固めたことが14日、分かった。同村長選で出馬の意向が明らかになるのは中島氏が初めて。

上毛新聞の取材に対し、情報通信技術(ICT)を活用した教育や子育て世代への支援策拡充などの

公約を掲げ、「世界で一番と称されるような村づくりに努めたい」と抱負を述べた。

中島氏は地域創生・自然エネルギー推進対策室長などを歴任し、2017年2月に退職。県女性団体連絡協議会理事。元県高校PTA連合会副会長。高崎経済大大学院修了。

中島ゆみこ プロフィール

1959年2月 榛東村長岡で生まれる(榛東村初代議長が祖父)
 渋川女子高校卒業 慶應義塾大学法学部卒業
 高崎経済大学大学院地域政策研究科:修士課程:博士課程終了
 博士(地域政策学)
 榛東村役場職員(元地域創生、自然エネルギー推進室課長他)
 ファームドゥ(株)ほか [榛東地域未来創生塾:何でも相談所] 主宰

- ☆群馬県女性団体連絡協議会理事
- ☆群馬県高等学校PTA連合会副会長
- ☆群馬県立前橋西高校PTA会長
- ☆元渋川市男女共同参加推進委員会会長
- ☆家族:夫二男一女家族
- ☆趣味:自慢のコシヒカリ栽培、音楽、読書
- ☆座右の銘:一生勉強 (元県議会議長 浅見一郎氏伝承)